

JART 特別企画

災害時の役割と対応

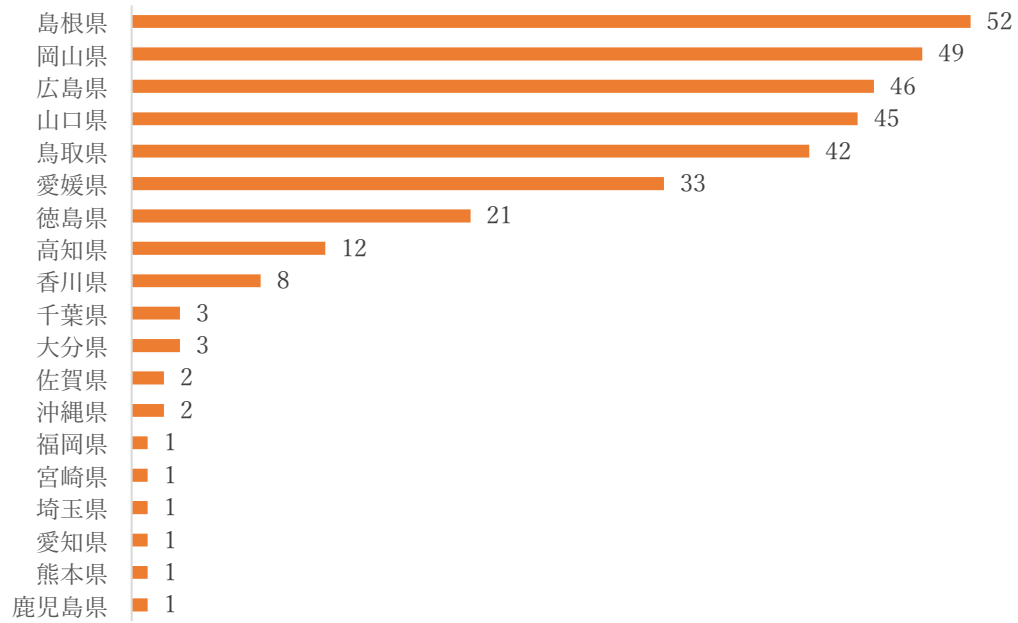
～医療現場で求められる能力と貢献～

アンケート結果報告

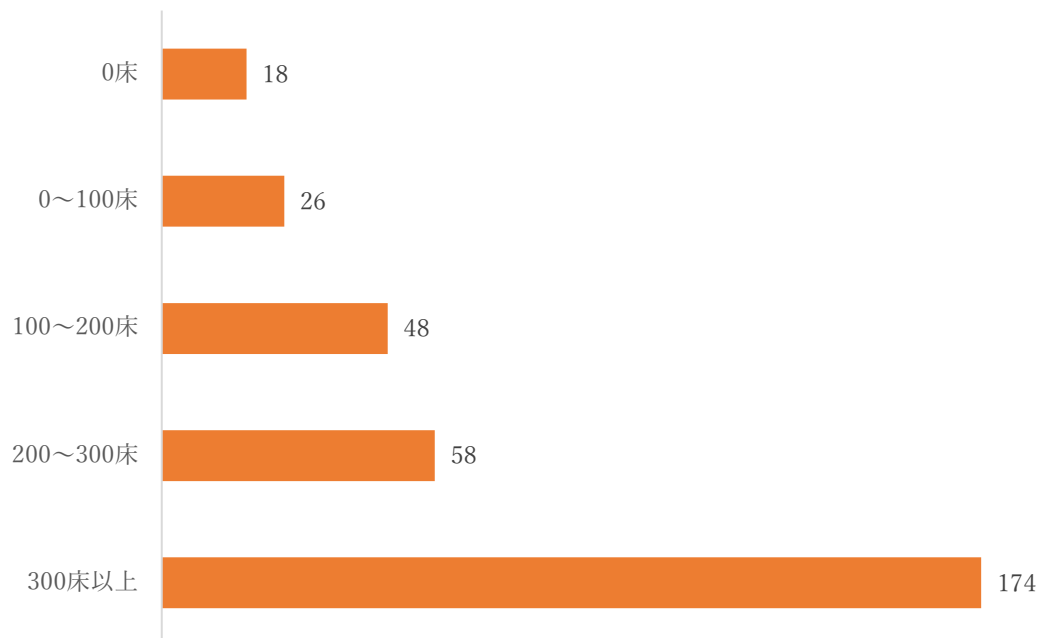
中四国診療放射線技師業務改善推進委員会

令和5年11月18日

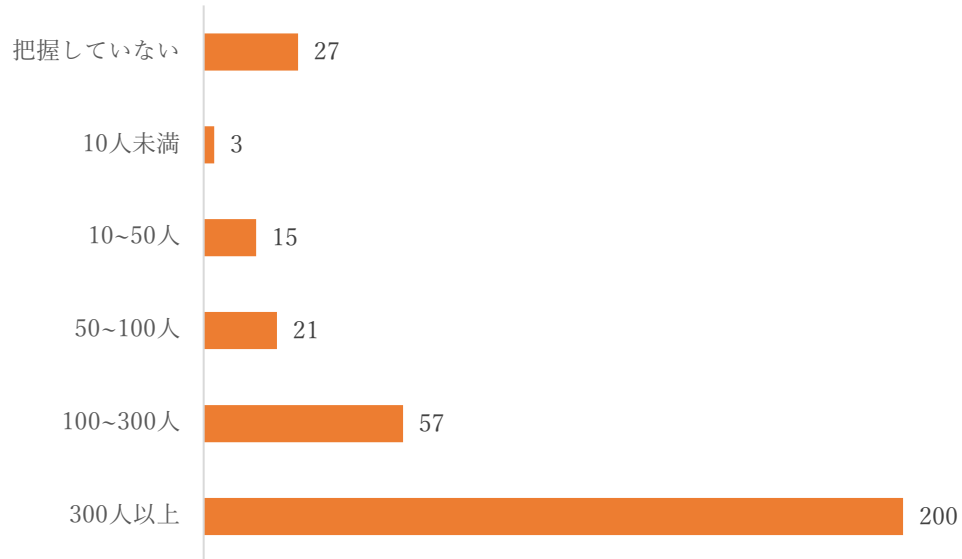
所属県



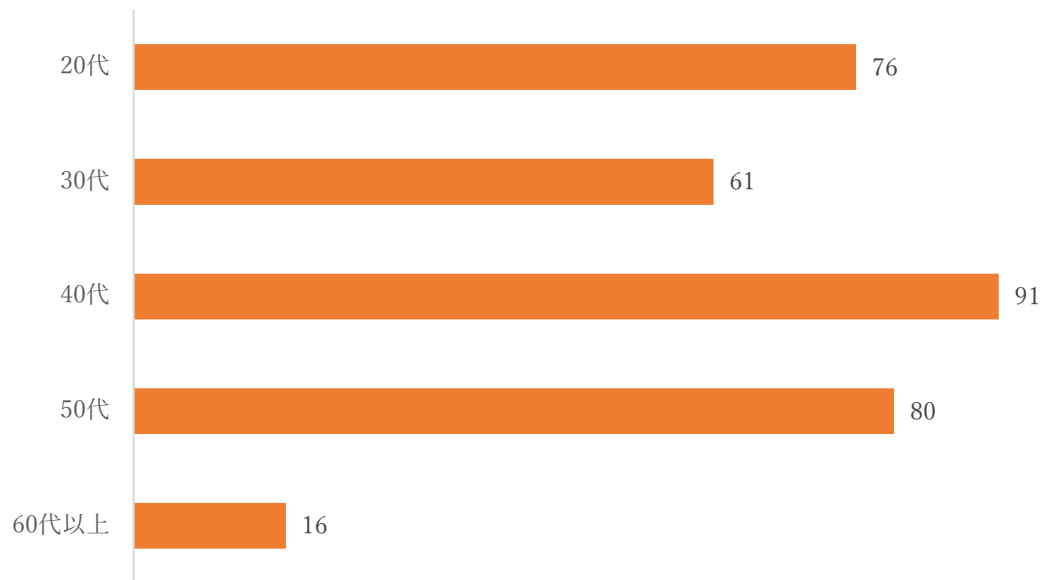
病床数



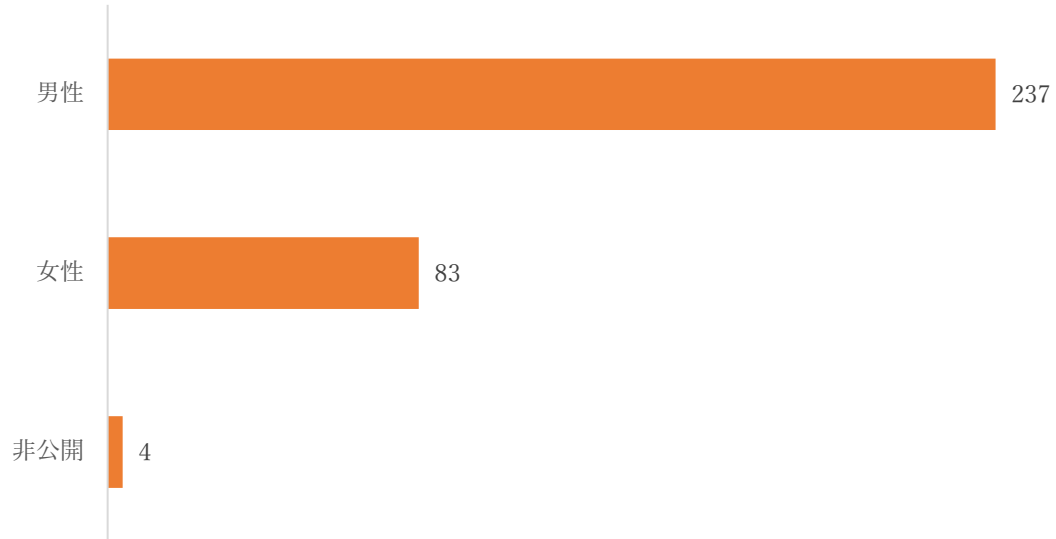
所属病院の総職員数



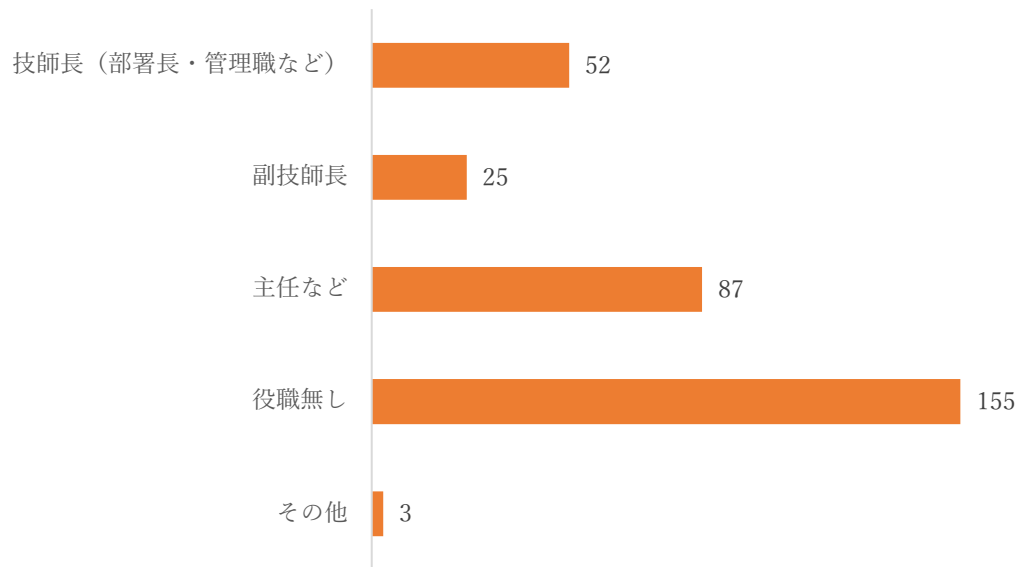
年齢

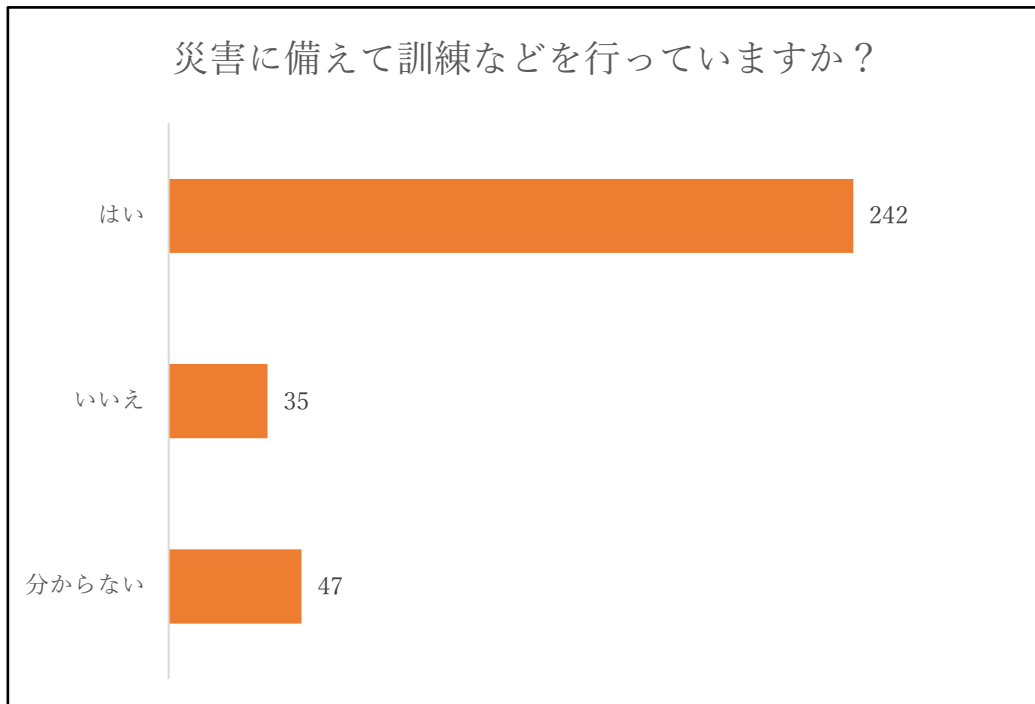


性別



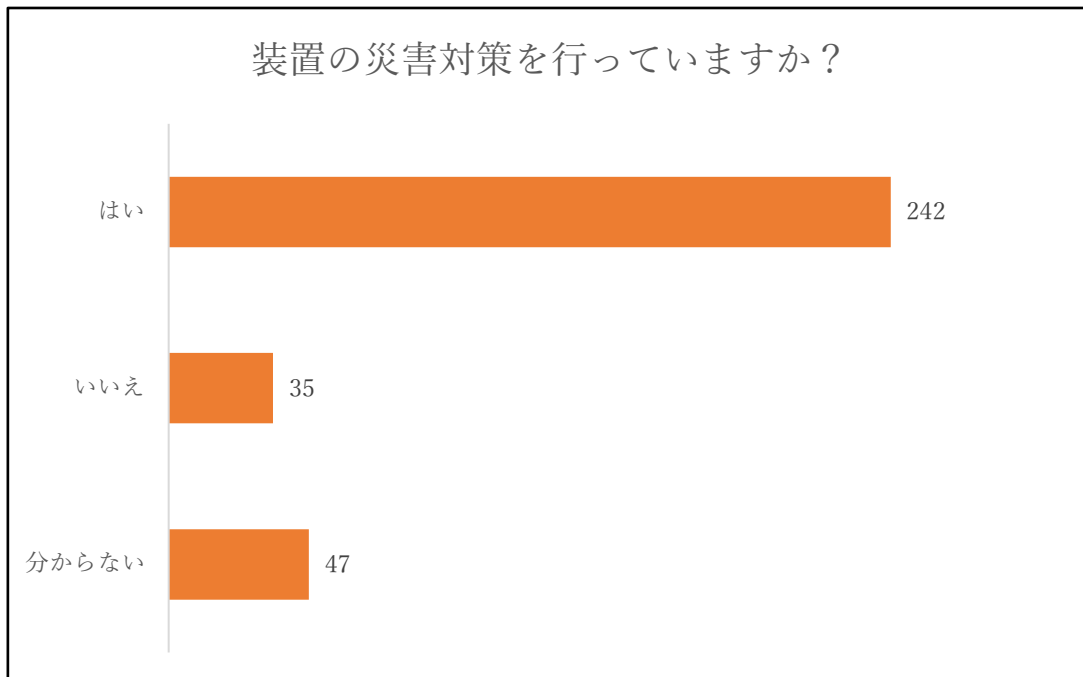
役職





実施している場合、具体的にどのような訓練を行っていますか？

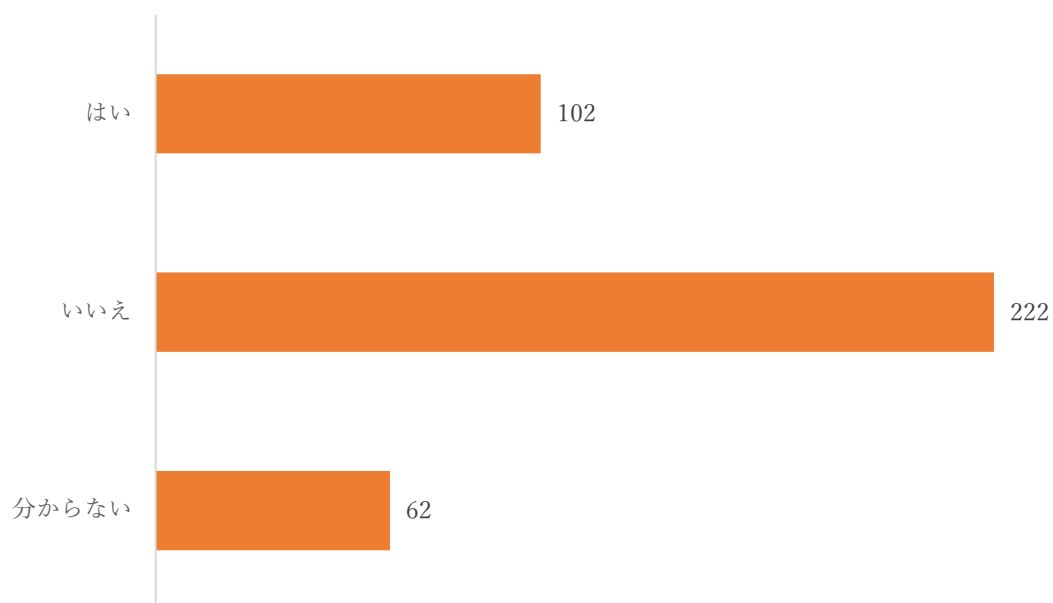
- 災害訓練（水害、地震、火災など）
- トリアージ
- 避難や、安全確保
- 医療機器の対応
- 職員の連絡網の周知
- アクションカード
- BLS
- DMAT
- 炊き出し



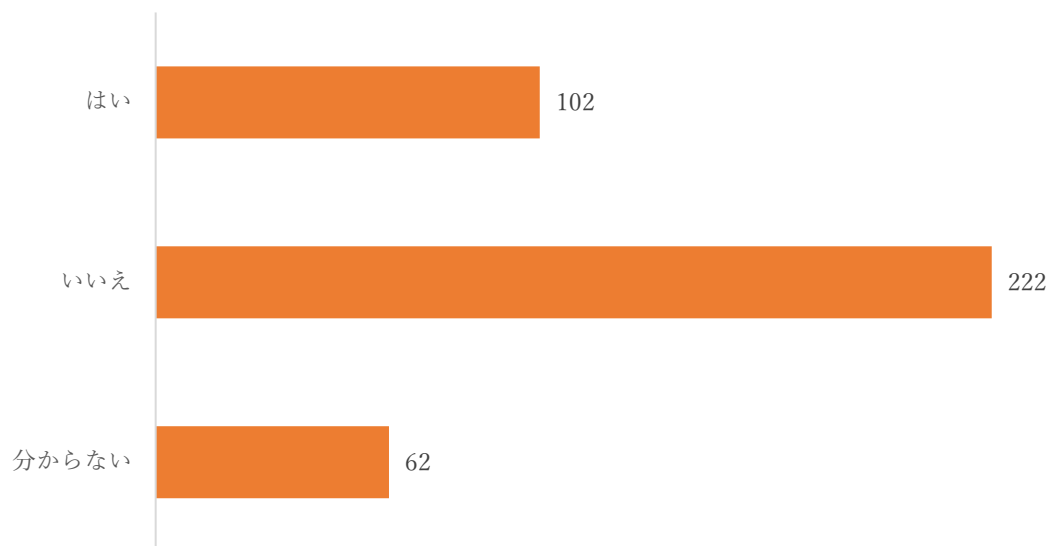
実施している場合、具体的にどのような対策を行っていますか？

- 非常電源
- 停電（計画停電など）
- マニュアル作成
- 物品の転落防止
- UPS、無停電源、自家発電
- アクションカード
- メーカーとの連絡体制
- メーカー作成のマニュアルがある
- BCP 委員会の設立
- サーバーや装置を1階に置かない
- 画像データをサーバーとクラウドに保存
- 避難誘導
- 装置・汚染の危険がある場所の立ち入り禁止を設定する
- 装置と手動で操作できるようにする
- 電子カルテが停止した際の訓練
- 地震時の検査室の扉の解放

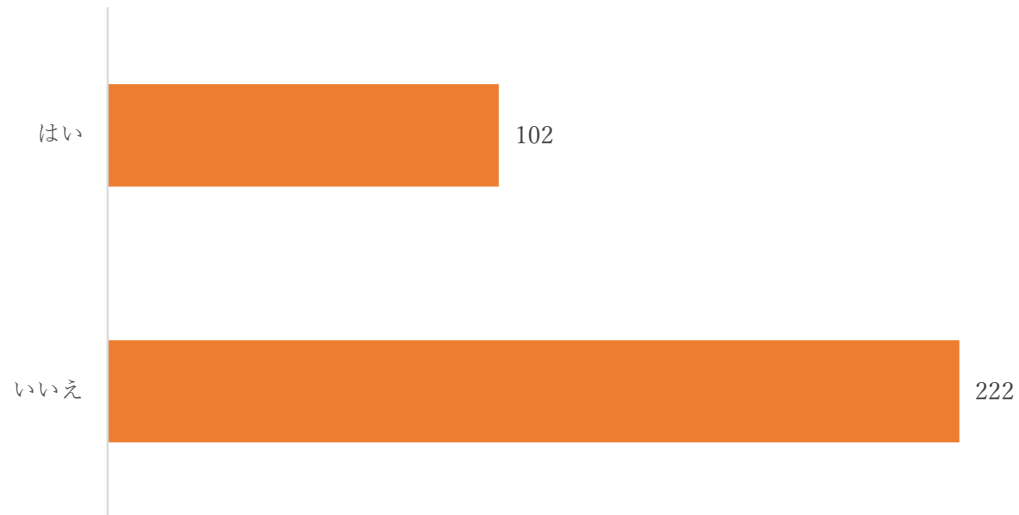
災害時のマニュアルを作成していますか？



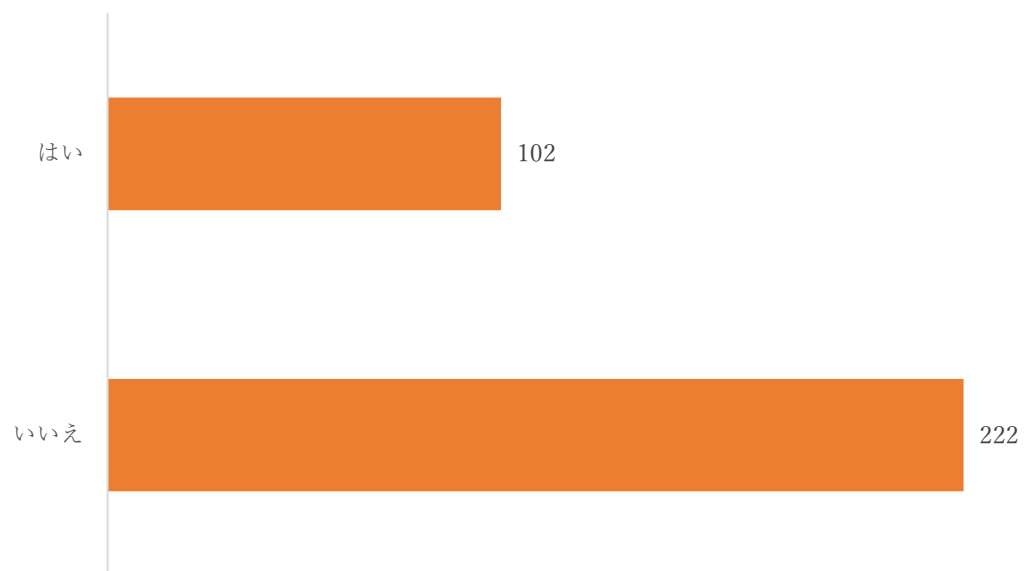
貴施設において、災害時の行動指針が 決まっていますか？



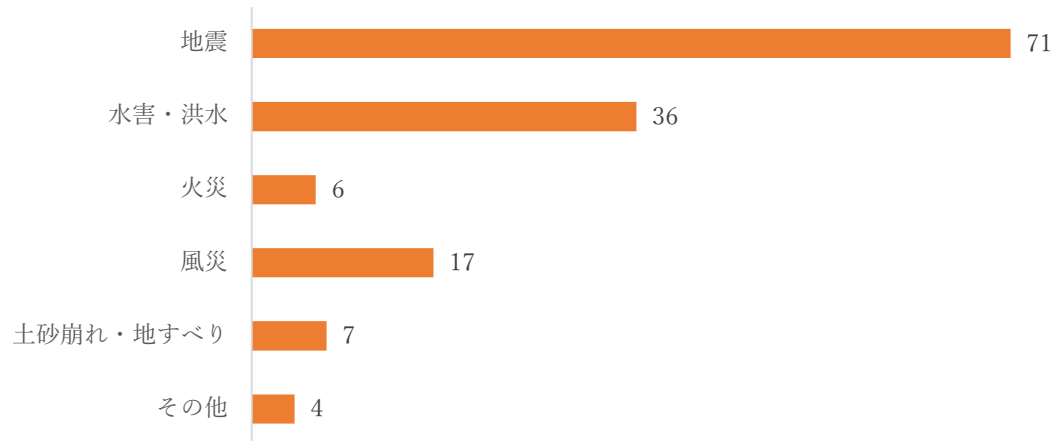
BCP（医療機関の事業持続計画）についてご存じですか？



実際に経験した災害はありますか？



経験がある場合、どのような災害を経験 しましたか？



経験した災害で、どのような行動・経験をしましたか

- 機器、建物の状況把握
- 安全確認
- 装置の復旧対応
- 特に何もしていない
- 避難した
- 避難誘導
- 上司へ報告した
- 気が付くと手を付けることができなかった
- 病棟患者の見回り
- 帰宅困難者、職員の救済
- 台風で瓦が飛んできた
- マニュアルに沿って行動した
- 被害状況の確認
- 待機
- 飲食物の確保
- MRI中に地震が発生し、寝台を手動でうごかした
- トンネル火災の傷病者の案内及び検体運び
- 職員の統率

- 閉じ込められて助けを待った
- DMAT 対応
- 病院が瞬間停電した
- 片付け
- 傷病者受け入れ準備
- 外に出る
- 突然のことで体が動かなかった

災害時、診療放射線技師としてどのように対応すればよいと思いますか？（複数回答可）

- 患者の安全を最優先にする 301
- 適切な避難場所や避難経路を確認する 232
- 機器や設備の保守・点検を随時行う 210
- 医療チームの連携を強化する 185
- 非常時に備えた備蓄品の確保と管理を行う 94
- 自分の身を守る
- 他院の技師と情報共有
- マニュアルや BCP の周知
- 臨機応変な対応
- 人員確保
- 職種関係なく分担して行う
- 装置のシャットダウンをする。

災害の際、診療放射線技師として何が不安ですか？（複数回答可）

- 施設や機器の損傷や破壊 230
- 適切な避難手順や避難場所の把握 107
- 医療活動の継続と患者の安全確保の両立 179
- 通信手段の確保と情報共有の困難さ 164
- 備蓄品や資材の不足や管理の難しさ 76
- 業務と家庭のバランス
- 装置故障の対応遅延
- 人員不足による勤務継続が不安
- 放射性物質の管理
- 病院外にいるときに出勤できるか
- 電源、・RIS・紙伝票運用について
- 電力確保
- 自分自身何が出来るか明確でないところ
- 自宅にいる家族に会えない
- 装置損傷の二次被害（クエンチなど）
- 患者の安全確保
- 復旧までの段取り

貴施設で起こる災害として何が起こると予想されますか？（複数回答可）

- 地震 295
- 洪水・水害 198
- 火災 195
- 風災（台風・竜巻など） 119
- 土砂崩れ・地すべり 49
- 感染症クラスター
- 大規模停電
- サイバー被害
- テロなどなんでも起こりうる
- 落雷
- 原子力災害
- 雪害

- 局地災害（飛行機事故や、列車事故など）
- 放射線

何を対策すればよいかを自由記述してください

- 画像計ネットワークが遮断された際、医師が撮影室まで来て診断してもらうほかない、その際の対応策が当院で議論されたことがない。
- 原子力緊急時に備えていきたい。
- 院内緊急時の人員配置、避難指示系統の整備。
- シミュレーション
- 緊急時の避難経路の確認
- 患者の安全確保
- 予備電源
- 各職場の行動計画、机上訓練
- 自家発電装置
- 飲料や食事の確保
- 医療連携の連絡網の整備
- マニュアル整備
- 技師長だけでなく、若手も医療安全を意識する
- 装置の対応
- 医療の提供がどこまでできるのかを即座に判断できる基準を考えるべき
- トリアージ訓練
- データ消失に備えたバックアップ
- 被災した際の初動について
- 各検査中に災害が発生した場合の具体的な避難誘導の把握
- 誤作動で放射線が放出されていないか確認する
- いざというときに慌てない心持ち

中田先生に伺いたいことを自由記述してください。

- 中田先生が一番伝えたいことを聞きたい。
- 診療放射線技師として普段からどのような心構えでいるべきか。
- 災害時の診療放射線技師の役割や診療放射線技師しかできないこと。
- 災害時に医療機器を守るための対策について。
- 計画停電の時の立ち回りについて。
- 自身も被災しながらも災害医療に当たらなければならないときの気持ちの維持の仕方。
- 誘導を行うべき職員自体がパニックにならない為の方法や患者への落ち着かせ方。
- 津波や洪水など急な避難が必要な場合、自分が犠牲になる覚悟までして患者を守る義務があるのか。
- 災害時にどこから手をつけ、何から始めればよいか。
- 二次災害を防ぐために気を付けるべきことはなにか。
- 大規模災害時のご遺体の身元確認作業について。
- 災害時での実体験を一連の動きを教えてください。また、その時大変だったことや、実体験を通して事前に備えておくべきだったことは何か。
- 災害発生時に対応するための院内訓練はどのようにすればよいか。
- 放射線科のBCP作成方法。
- 理想と現実、経営層と現場の認識の違いをどう解決していくのがよいか知っておきたい。
- 大規模災害が起きた場合、メカニカルサポートが付いた患者さんの移送を完全に対策している施設はほとんどないと思うが、法律的な規制がない限り施設がお金をかけていかない現状をどう考えているのか。
- 災害も心配ですが、サイバー攻撃が恐ろしい。サイバー攻撃の対策はあるのか。
- 自身や家庭の調整より、職場の調整や理解というところになやんでいる。その辺の理解を得るためにどうすればよいか、また、どういう環境が必要なのか。

アンケートにご協力してくださった 324 名の皆様

ありがとうございました